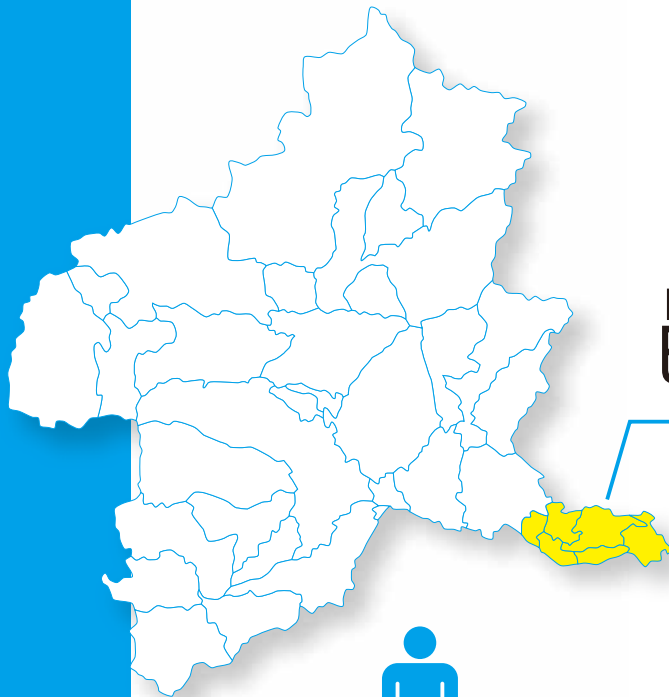


主要事業箇所図



邑楽館林地域

市町村：館本市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町



域内人口
18万2千人(注)



域内面積
193 km²

邑楽館林地域は、全体がほぼ平坦地で、県内で最も東京に近い60～70km圏内に位置し、東北方面へのアクセスも良く、栃木・埼玉・茨城の各県とは、住民生活や産業面等で相互に深くつながっています。また、外国人住民の居住割合も高いことも、この地域の特徴です。

基本目標 **1** **元気**
もっと、県土に活力を

政策 1 道路ネットワークの整備

政策 2 主要プロジェクト整備の促進

基本目標 **3** **魅力**
もっと、県土に魅力を

政策 6 持続可能な地域づくり・まちづくり

政策 7 多様な移動手段の確保

政策 8 良好なまち並みと快適な住まいづくり

政策 9 ハッ場ダム関連事業の促進

基本目標 **2** **安全**
もっと、暮らしに安全・安心を

政策 3 災害に強い県土づくり

政策 4 安心して生活・移動できる環境づくり

政策 5 社会資本の戦略的な維持管理・更新

基本目標 **4** **環境**
もっと、良好な環境を

政策 10 生活環境・自然環境の保全

政策 11 低炭素・循環型社会づくり

(注) 最新の国勢調査人口 (平成27年10月)

地域の優れた特性

- 栃木県南西部とは両毛地区として一体感があるほか、埼玉県や茨城県とも近く、県境を越えた交流が多くなっています。
- 東京圏からは東武鉄道や東北道・圏央道等の交通網でつながっており、企業や教育機関等が進出しやすい立地条件にあります。
- 高速道路網が充実しており、食品企業等多くの企業が進出しています。

県民の声

- 関東・東北豪雨における鬼怒川の決壊を踏まえ、水害対策を拡充してほしい。
(H28地元意見ヒアリング)
- 大雨時の道路冠水の対策や、避難経路となる道路の整備を進めてほしい。
(H28地元意見ヒアリング)
- 歩道が整備されていない通学路の歩道整備をしてほしい。
(H28地元意見ヒアリング)
- 交通量が多く、渋滞している箇所の対策をしてほしい。
(H28地元意見ヒアリング)

地域の現状と課題

- 河川氾濫から人命と財産を守るための取組が求められています。
- 豪雨時や地震時においても、円滑な避難や迅速な救命救助、復旧復興を可能にするための取組が求められています。
- 通学路の歩道整備率が県内の他地域に比べて低く、交通事故死者数も多いことから、歩行者や自転車の安全な通行を確保するための取組が必要です。
- 市街地を中心に交通渋滞が発生しており、市街地等の円滑な交通を確保し、県境を越えた周辺地域との連携強化を図るための取組が求められています。
- 既存の高速道路を有効活用し、物流の効率化や地域経済の活性化、利便性の向上等を促進するための取組が求められています。
- 利根川及び渡良瀬川などがはん濫した際には、地域のほぼ全域が浸水するとの想定がされており、市町村や県を越えた広域避難が必要となります。

地域の課題を解決するために目指すべき方向性・主な取組

1. 防災対策が充実し安心して生活できる地域づくり

- 安全** ① 河川氾濫から人命と財産を守るため、**政策3－施策2「災害防止対策」**に基づき、一級河川休泊川等の河川改修を推進します。
- 安全** ② 円滑な避難や迅速な救命救助、復旧復興を可能にするため、**政策3－施策3「災害時にも機能する社会資本・体制整備」**に基づき、国道354号の電線共同溝整備等を推進します。
- 安全** ③ 歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、**政策4－施策1「交通事故防止対策」**に基づき、県道江口館林線の歩道整備等を推進します。
- 安全** ④ 利根川及び渡良瀬川などのはん濫時における市町村や県を越えた広域的な避難行動を支援するため、**政策3－施策1「住民の避難のサポート」**に基づき、市町村の取組を支援します。

2. 住みよいまちづくりと交通ネットワークの強化

- 魅力** ① 利根川、渡良瀬川を越えた地域との連携強化を図るため、**政策6－施策1「まちのまとまりとネットワークの形成」**に基づき、広域的な道路ネットワークの整備を検討します。
- 魅力** ② 県境を越えた周辺地域との連携強化を図るため、**政策6－施策1「まちのまとまりとネットワークの形成」**に基づき、国道122号館林バイパスや利根新橋等の南北を結ぶ道路整備を推進します。
- 元気** ③ 物流の効率化や地域経済の活性化、利便性の向上等を促進するため、**政策1－施策1「7つの交通軸の整備・強化」**に基づき、市町とともに東北自動車道への新たなスマートICの整備に向けた検討を行います。

主要事業(計画期間内に県が実施する主要な事業)一覧 (邑楽館林地域)

1 継続事業

事業目的		番号	事業名	施工箇所	完成予定	
施策	目的					
1. 防災対策が充実し安心して生活できる地域づくり						
安全	政策3 災害に強い県土づくり 【施策2】 災害防止対策	河川氾濫から人命と財産を守るため	1	一級河川休泊川 河川改修	大泉町西小泉 ～太田市内ヶ島町	H36
			2	一級河川多々良川 河川改修	邑楽町中野～石打	H38
	政策3 災害に強い県土づくり 【施策3】 災害時でも機能する社会資本・体制整備	円滑な避難や迅速な救命救助等を可能にするため	3	国道354号 電線共同溝	館林市小桑原町	H36
			4	国道354号 電線共同溝	館林市緑町	H37
	政策4 安心して生活・移動できる環境づくり 【施策1】 交通事故防止対策	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	5	県道足利邑楽行田線 歩道整備	邑楽町中野	H30
			6	県道江口館林線 歩道整備	館林市緑町	H30
			7	県道館林藤岡線 歩道整備	板倉町除川	H31
			8	県道足利館林線 歩道整備	館林市高根	H31
	政策5 社会資本の戦略的な維持管理・更新 【施策1】 社会資本の長寿化対策	県民の安全・安心な生活を守るため	9	県道足利邑楽行田線 歩道整備	邑楽町狸塚	H33
			10	県道今泉館林線 歩道整備	明和町上江黒	H35
	11	県道矢島大泉線(谷田川橋) 老朽橋梁架替	館林市入ヶ谷町 ～明和町入ヶ谷	H37		
2. 住みよいまちづくりと交通ネットワークの強化						
魅力	政策6 持続可能な地域づくり・まちづくり 【施策1】 まちのまとまりとネットワークの形成	周辺地域との連携強化を図るため	12	県道山王赤生田線(楠工区) バイパス整備	館林市楠町	H36
			13	国道122号(館林バイパス) バイパス整備	館林市北成島町 ～苗木町	H39
			14	(都)中央通り線 現道拡幅	館林市本町	H39

2 平成39年度までに着手予定の事業

事業目的		番号	事業名	施工箇所	備考	
施策	目的					
1. 防災対策が充実し安心して生活できる地域づくり						
安全	政策3 災害に強い県土づくり 【施策2】 災害防止対策	河川氾濫から人命と財産を守るため	15	一級河川新堀川ほか 河川改修	明和町大輪 ～邑楽町鷲新田	
			政策3 災害に強い県土づくり 【施策3】 災害時でも機能する社会資本・体制整備	円滑な避難や迅速な救命救助等を可能にするため	16	県道佐野行田線 電線共同溝
	17	県道綿貫篠塚線 電線共同溝	大泉町東小泉			
	政策4 安心して生活・移動できる環境づくり 【施策1】 交通事故防止対策	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	18	県道除川板倉線 歩道整備	板倉町細谷	
			19	県道麦倉川俣停車場線 歩道整備	明和町中谷	
			20	県道足利千代田線 歩道整備	大泉町吉田	
			21	県道赤岩足利線 歩道整備	邑楽町篠塚	
			22	県道足利邑楽行田線 歩道整備	邑楽町光善寺	
	23	県道海老瀬飯野線 歩道整備	板倉町海老瀬			
	2. 住みよいまちづくりと交通ネットワークの強化					
魅力	政策6 持続可能なまちづくり・地域づくり 【施策1】 まちのまとまりとネットワークの形成	周辺地域との連携強化を図るため	24	県道熊谷館林線(利根新橋(赤岩渡船)) バイパス整備	千代田町	◎
			25	県道山王赤生田線(楠2期工区) バイパス整備	館林市楠町	
			26	県道足利邑楽行田線(中野上宿交差点) 交差点改良	邑楽町中野	

◎は「はばたけ群馬・県土整備プラン2013-2022」への掲載事業であり、平成34年度までに着手予定の事業

主要事業箇所図 (邑楽館林地域)

凡 例

【事業分野区分】

- 道路事業
- 河川事業
- 砂防事業
- その他事業（下水・住宅・公共交通等）

【継続事業・着手予定事業の区分】

- 継続事業
- 着手予定事業

【その他】

- ➡ 地域の主要な道路ネットワーク（県管理道）
- ➡ " (高速道路)
- ➡ " (直轄国道)
- 地域の主要な拠点

